

ボランティア情報誌 たまぼら 50号記念号

ボランティア情報誌「たまぼら」は50号という記念の号を迎えることができました。今後も様々なボランティア情報を発信していきたいと考えています。

現在ボランティア活動中！！（ボランティアをしている方にお話を伺いました。）

いつ講座を受けましたか。 どこで、どんなボランティアをしていますか。
やりがいとは？ 講座で役立ったことは？ ボランティアを始める方に一言

伊達 妙子さん(62歳) 平成20年度の入門講座を受講



木：障害者施設「はなみずき」作業手伝い

月・水・金：多摩病院でボランティアの会（ランパス）で活動
案内や昼食の配膳・下膳、折り紙教室など。

日：宿河原小の図書室で地域貸出。週2回多摩川の里で水やり
定年後、70歳になった時の居場所を作ろうと思った。若い人と接していたいし、自由な時間もほしい。今、楽しく活動出来て、私がとても感謝している。

牧岡さんの体験談が良かったし、車椅子体験も人に押ししてもらって怖さを知ることが出来た。同じ受講者の定年後の生活についても参考になった。

やりたいことをやる、やりたくないことはしない

角田 武彦さん(68歳) 平成21年7月多摩サポーターズに参加後、入門講座を受講 多摩サポーターズ：草取りや樹木剪定の依頼があった時に行う



多摩区ウォーキング推進委員会：第1・2木

定年後の自分の健康の為に、地域との関わりと仲間作りを求めて。そして何より、人の役に立つ喜びがある。

いろいろ勉強になり、自分にできることを探すことに役立った。

自分の健康第一に、無理をしない、苦手なことはしない

多摩サポーターズではいっしょに活動してくれる方を募集しています。女性にもできますので、ぜひ参加してください。また、高齢者や障害者で庭の手入れにお困りの方、申込みは社協まで！

* . . * . . * . . * . . * . . * . . *

傾聴ボランティアグループへ！！

平成22年度傾聴入門講座を受講し、施設体験を経て、現在ボランティアされている方が6名います。月1～2回老人ホームやデイサービスで活動し、2か月に1度集まって活動報告をしています。

「お話できない方がほとんどで、傾聴で来たのに...と思うと疲れてしまう。でも、利用者の方々がなんとなく認めてくれている様子が見られたり、職員の方が声を掛けてくれたりと、続けていたからこそ感じることもある。」「やめようと思ったこともあったが、前に居る人が一瞬でも楽しいと思ってくれればいいのかと思ってやっている。」「一緒に活動している人など、知り合いの輪がドンドン大きくなって、とても楽しい。」など、いろいろ体験したことを話し合い、悩みながらも前に進んでいる様子を感じられました。「もっと経験を積んで一人暮らしの方の話し相手になりたい。」との意見に全員が頷いていました。



今年度講座を受けた方たちが施設体験を始めました。一緒に活動できるようになればいいですね。

平成 24 年 1 月で「たまぼら」は 50 号を迎えました。今までの歴史や変遷を「たまぼら」非公認キャラの 2 人の対談形式で報告します。

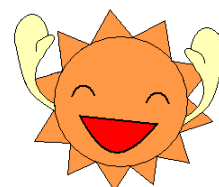
ほっしー（以下 ）

ボランティアが増えて欲しい
と考えている星の妖精



太陽さん（以下☀）

ほっしーの先輩
正式名は太陽 SUN



「50 号っておめでたいね！ ちなみに創刊号はいつ発行されたの？」

☀「平成 15 年 11 月に発行されているよ。もう、9 年近く経つんだね。ちなみに創刊号ではボランティアの募集記事は 3 つだったけど、今はだいたい 10 くらいの募集を載せているよ 」

「50 号までに、色々な講座を広報していると思うけど、なんか面白い講座とかはあったの？」

☀「平成 17 年にお父さんのためのボランティア講座というものを開催しているよ♪他には平成 18 年に新潟県長岡市社会福祉協議会の職員さんに来てもらい新潟中越沖地震の対応の話の聞いたりしているよ。」

「今も、災害のボランティアセンター設置のマニュアルを作ったりしているけど、昔から取り組んでいたんだね 」

☀「このたまぼらの発行もしているボランティアセンター運営委員会は平成 16 年 7 月に第 1 回目の会議をしているんだ。最初の構成委員は 15 名で、今も運営委員をやっている人が 2 人いるよ」

「まさに生き字引だね ボランティアセンターの運営委員は、ボランティアや当事者団体、地区社協・民協・町会・老人クラブ、学校や行政等の関係機関、公募の委員で構成されているよ。」

☀「ボランティアセンター運営委員は、ボランティア活動の振興のため、講座の企画や運営を行っているよ」

「なるほど～。今後のたまぼらの目標は？やっぱり 100 号？？それとも 1,000 号？？」

☀「それだけ続くと良いね。でも、そういった数字ではなく、区民の人が知りたいボランティア情報をこつこつと発信し続ける存在でありたいな。」

「名言でた！！ 名言が出たところで、そろそろお開きで 」



ボランティアセンター運営委員

多摩区ボランティアセンター
岡本 正義 運営委員長 挨拶

「明るく 楽しく ボランティア」23 年度の多摩区ボランティアセンター事業のスローガンです。これを念頭に運営委員が入門講座、お話し相手講座や災害救援活動などのボランティア行事の企画、運営を社協スタッフと一緒に進めています。どうしたら参加者を増やすことができるか？参加者にボランティア活動は楽しいよ！と実感して頂ける講座になるか、頭をひねっています。